

第 51 期日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修報告書

広島市立大学 国際学部 3 年 横山琉夏

2025 年 2 月

México Mágico

Invierno のテストが終わり、折り返しの 3 セメスター目が始まります。2 月後半から、日中はもう夏が始まったのかと感じるような暑さで、すでにタンクトップや半袖の T シャツを着て過ごしています。朝晩は、日中に比べると気温は低いですが、薄手の長袖を着ていれば心地よく過ごすことのできる気温です。冬服をあまり持ってきていなかったため、12 月ごろにセーターやアウターなどを購入しましたが、日本よりも早い段階で出番は終わるので、購入する量には注意です。

メキシコの誕生日パーティー

メキシコの誕生日パーティーは、日本のように友達や恋人が用意するのではなく、自身でパーティーを企画し、友達を招待します。また、パーティーは自身の家かイベント会場を貸し切って行われます。私は今回、友達に招待してもらい、パーティーに行ってきました。パーティーに行くとすぐ、日本とメキシコの違いをいくつか体感しました。

まず「メキシコだな～」と思ったのは、連絡されていた集合時間より 30 分遅れて到着したにもかかわらず、まだ本人とメキシコ人の友人一人しかいなかったことです。日本人とメキシコ人の大きな違いのひとつは、時間の感覚です。日本人は基本的に *puntual*（時間厳守）ですが、メキシコ人は時間に対して比較的おおらかで、予定時刻より 30 分ほど遅れて到着するのがちょうどよいとされています。ただし、時間をしっかり守るメキシコ人もいるため、初めのうちは時間通りに行動するのが無難です。

そして、日本ではパーティーを開く際、ある程度人がそろってから食事を始めるのが一般的ですが、メキシコでは全員が集まる前に食事が始まることが多いようです。これは、いつ全員がそろそろかわからないためかもしれません。このような大人数の集まりに参加すると、日本とメキシコの文化の違いを改めて実感します。

時間が経ち、続々と人が集まってくると、みんなでジェンガやゲームをしたり、*Las mañanitas* という誕生日ソングを歌ったり、*salsa* を踊ったりと日本とは全く違う誕生日パーティーを経験することができました。初めて会う方もいましたが、このパーティーで仲良くなることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。





メキシコで誕生日の際に使われるろうそくは手持ち花火のようなろうそくです。初めて見た時は想像以上の火力にとっても驚きました（笑）

Museo

メキシコには museo（美術館や博物館）が数多くあります。日本にいるときはあまり美術館や博物館に行くことがなかったのですが、メキシコに来てからはさまざまな museo を訪れるようになりました。その理由として、まず museo の数が非常に多いことが挙げられます。さらに、多くの museo では CEPE の学生証を提示すると割引が適用され、とても安い料金で入場できるため、気軽に訪れることができます。

私がメキシコに来て一番に訪れたのは「メキシコ国立人類博物館」です。ここは、知る人ぞ知るとても有名な博物館でメキシコ人にもここは行った方がいいとおすすめされました。メキシコ全土の重要な出土品や文化遺産などが展示されており、アメリカ大陸最大の博物館です。その名の通り、展示内容は非常に充実しており、私も約2時間滞在しましたが、全体の4分の1ほどしか見ることはできませんでした。



これらは展示品の一部ですが、これだけでもメキシコに関する展示物の幅広さが伝わるのではないかと思います。この博物館を訪れたのはメキシコに来て間もない頃だったため、展示の説明文を十分に理解することができませんでした。しかし、今なら以前よりも内容を深く理解できると思うので、帰国するまでに何度か足を運び、すべての展示品をじっくりと見て回りたいと思います。

ほかにも、授業で UNAM の敷地内にある「Pabellón Nacional de la Biodiversidad」という博物館に行きました。ここには、メキシコの豊かな生態系や絶滅危惧種、環境保護の重要性に関する展示があります。展示物についてスタッフの方が説明をしてくれたり、わからないものがあると詳しく説明してくれたりしたので、とても楽しくメキシコの生物につ

いて学ぶことができました。



おわりに

来月の頭は、セメスター間の休みがあり、グアナファトへ研修に行きます。企業や日本人学校へ訪問できるということで、この貴重な機会を大切に、たくさんのことを学んで帰りたいと思います。



2月の México Mágico

Pabellón Nacional de la Biodiversidad に展示されていた昆虫は、すべて食べることができるそうです。メキシコでは chapulines と呼ばれるイナゴの一種が一般的に食べられており、私も実際に食べたことがあります。しかし、他の国から来た学生たちは食べたことがないようで、「食べられる」と聞いたときには思わず苦笑いしていました。